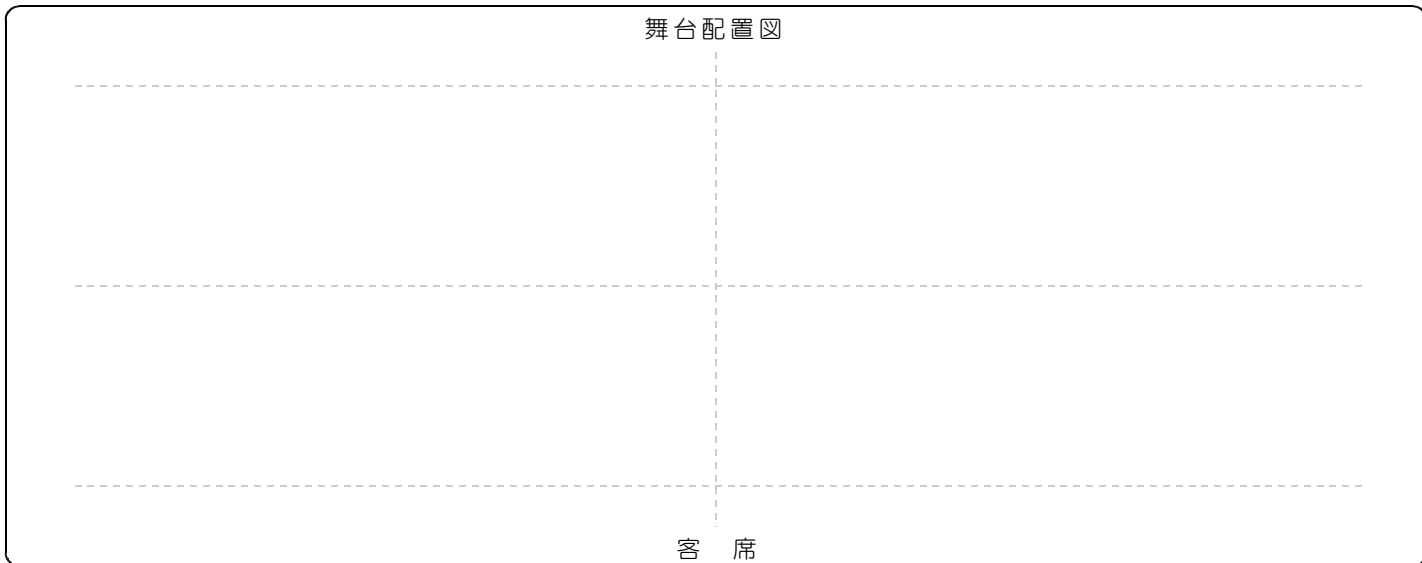


No.	日本の三つの唄	演奏者数	演奏時間
-----	---------	------	------

舞台配置図



客席

表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エター-	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44										編成：1箏			2箏		
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾			
1 箏	D	G	A	C	D	D#	G	A	C	D	D#	G	A			平より四九一音↑ 一は五の乙(D)
									A#							
2 箏				C					C							平調子 一は五の乙(D)
	D	G	A	A#	D	D#	G	A	A#	D	D#	G	A			

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1971年 委嘱者 一 構成 箏 I・II 時間 6分 出版楽譜 前川出版

解説 日本の代表的な3つの唄をメドレーにしてあるが、1曲ずつ独立して演奏出来る様にそれぞれが短い変奏曲になっている。テンポは特に指定されていないが、序破急の形をとるのが望ましい。1971年5月作曲。[作曲者] 収録媒体 箏 沢井忠夫作品集4 (VZCG-581) 邦楽器の調べ みやびうた (D1515 より DRF-7401)